

衆議院環境委員会ニュース

【第213回国会】令和6年3月15日（金）、第3回の委員会が開かれました。

1 環境の基本施策に関する件

- ・伊藤環境大臣、浜地厚生労働副大臣、穂坂外務大臣政務官、舞立農林水産大臣政務官、朝日環境大臣政務官、国定環境大臣政務官、三宅防衛大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。
（質疑者）屋良朝博君（立憲）、篠原孝君（立憲）、中川康洋君（公明）、笹川博義君（自民）、林佑美君（維教）、杉本和巳君（維教）

（質疑者及び主な質疑事項）

屋良朝博君（立憲）

P F A S 問題

- ア 人の健康への影響に対する伊藤環境大臣の認識
- イ 血中濃度の基準値を設定する必要性
- ウ P F O S ・ P F O A に対するWHOによる発がん性評価の引上げを受けた、国民への現状説明の方法
- エ 米国ミシガン州の取組を参考として、血中濃度に関する情報提供を行う必要性
- オ ホットスポット地域の医療機関で実施している血液検査の項目にP F A Sを追加して科学的知見の収集を図る必要性
- カ P F A S 対策の技術開発が国際協力へ発展する可能性についての伊藤環境大臣の見解
- キ 水道水質基準の見直し
 - a 水道水の暫定目標値が水道水質基準に位置付けられた場合の対応を検討する必要性についての伊藤環境大臣の見解
 - b 全国の浄水場における活性炭の必要量
 - c 活性炭処理を実施している浄水場の数及びP F O S ・ P F O A を吸収した活性炭の処理方法
 - d 水道水質基準の設定に向けたアクションプランを策定する必要性
- ク 在日米軍基地に勤務する日本人従業員の健康診断
 - a 在日米軍基地で消防隊員として働く日本人の数
 - b 日本人消防隊員からの特殊健康診断の実施要望に対する防衛省の見解
- ケ 在日米軍基地への立入調査
 - a 汚染源特定のための沖縄県による米軍基地への立入調査が実現しない理由
 - b P F A S 基準値の設定が議論中であることを理由に立入りが難しいとした上川外務大臣の認識に対する伊藤環境大臣の見解
 - c 外務省と環境省が連携し、同じ現状認識を持ってP F A S 問題に取り組む必要性

篠原孝君（立憲）

(1) 国連気候変動枠組条約締約国会議（C O P）

- ア フォッシル・オブ・ザ・デー（化石賞）を毎年日本が受賞していることに対する伊藤環境大臣の所感
- イ 国際的に見て我が国のガソリン価格は高くないにもかかわらず、C O P 28 開催中にガソリン税のトリガー条項の凍結解除を検討することは、脱炭素化社会の実現に逆行するとの考えに対する伊藤環境大臣の見解
- ウ 大阪万博を延期し、万博会場にC O P を誘致し、世界に向けて日本の環境技術を売り込むことを政府内で提案してほしいとの要望に対する伊藤環境大臣の見解

(2) 花粉症対策

ア 花粉症は世界的な問題か否かの確認

イ スギの人工林の面積が全国で43番目の東京において花粉症の有病率が高い理由

ウ 大気汚染と花粉症の関係等、政府は花粉症の原因究明をすべきとの意見に対する厚生労働省の見解

エ 花粉症に関する関係閣僚会議のこれまでの開催回数と成果

オ 花粉症対策とともに大気汚染対策も講じる必要性

カ 合成化学物質である花粉症飛散防止剤を空中散布すべきでないとの意見に対する農林水産省の見解

(3) 環境省において時代遅れな「鳥獣」という文言の使用を見直す必要性

中川康洋君（公明）

(1) 同心円の考えに基づく環境政策の推進を国民に分かりやすく伝える方法及び第六次環境基本計画への反映に向けた伊藤環境大臣の決意

(2) 改正外来生物法

ア 新たに創設された国の責務規定に基づく地方公共団体への支援状況

イ ヒアリ類について強化された水際対策の内容及び進捗状況

(3) 第1回脱炭素先行地域として選定された地域の取組の進捗状況及び課題

笹川博義君（自民）

(1) 人に危害を加えるおそれのある危険な犬種に対する規制

ア 本年2月7日に群馬県伊勢崎市で発生した大型犬による咬傷事故に対する環境省の受止め

イ 人に危害を加えるおそれのある危険犬種を特定動物に追加指定すべきとの意見に対する環境省の見解

(2) 外来生物を国内に持ち込む前の影響調査の実施や外来生物のホワイトリストの整備の必要性についての環境省の見解

(3) 海洋プラスチックごみに関する国際条約策定に向けた伊藤環境大臣の決意

林佑美君（維教）

(1) PFAS問題

ア PFASでコーティングされた食品包装資材の使用実態

イ 同包装資材の過去の使用状況

ウ 同包装資材の使用状況を調査する必要性についての厚生労働省及び経済産業省の見解

エ 化粧品におけるPFASの使用状況と健康への影響

オ PFASの体内残留に関し、環境省作成のQ&Aにおいて、正確で丁寧な情報提供を行うべきとの意見に対する環境省の見解

カ 環境先進国として、農作物等への影響について、関係省庁で連携して研究調査や基準の策定を行うべきとの意見に対する農林水産省及び環境大臣の見解

キ 自治体や消費者団体も交えながら、一般の人にも分かりやすいリーフレットを作成する必要性

(2) 令和6年能登半島地震における水の供給の確保とし尿処理対策

ア 早期の断水解消に向けた政府の取組状況

イ トイレトレーラーの整備方針

(3) クマの生息地である奥山においてクマが餌を確保できるような環境が必要との考えに対する環境省

の認識

杉本和巳君（維教）

- (1) COP28 での伊藤環境大臣の活動内容
- (2) 風力発電事業及び太陽光発電事業の環境影響
 - ア 生態系や自然環境への影響
 - イ マイナス面の影響についての伊藤環境大臣の見解
- (3) ごみの分別や資源の再利用における A I の活用についての伊藤環境大臣の所見

- 2 地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律案（内閣提出第 43 号）
 - ・伊藤環境大臣から趣旨の説明を聴取しました。